

令和 7 年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）

(1) 今年度も、子どもたちからのあいさつ活動について重点的に指導されてきた。

朝の「おはようございます」などのあいさつや、学校内でのあいさつはかなり浸透してきていると感じている。地域の中でも、積極的に挨拶する子どもが増えてきており、「本木の地域」を明るく元気にしてくれている。今後も継続した指導を期待している。加えて、子どもたちのレジリエンスを高める工夫も期待する。

(2) 毎月の学校だよりや年間200回を超える校長ブログなどを通じて、今年度も学校の様子や取り組みを知ることができ、とても良かった。

「情報の発信」については、保護者や地域から99%の肯定的な評価を得ていることは評価に値すると考える。

(3) 「基礎学力の定着」が課題となっているが、先生方の授業力向上やAIドリルの活用により、成果が徐々に出てきている。今後の一層の伸びに期待する。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

(1) 子どもたちをよりよく育てるためには、保護者の学校への協力が不可欠である。今後も、開かれた学校づくり協議会において、保護者や地域を絡めた活動を継続して企画していきたい。

(2) 校舎に掲示された「目指す学校像（スローガン）」横断幕は、保護者や地域へのアピールとなり、大変良いと感じている。

(3) 「人権教育推進」に関するアンケートでは、児童や保護者ともに90%を超える肯定的評価を得ることができている。「東京都教育委員会人権尊重教育推進校」として、11月に研究発表会を実施し、保護者や地域の方々にも参加され、学校の取り組みについて積極的にアピールできたことは評価できる。

3 その他

来年度の令和8年度に、創立150周年を迎える。学校、保護者、地域が三位一体となって150周年を盛り上げていきたい。

これからも、地域と共に歩み、保護者と連携して、巣立っていった卒業生の誇りとなるような学校づくりを期待している。